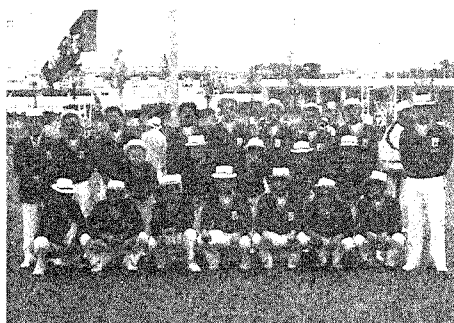


「カメラのレンズを見て！」「ハイ！チーズ」

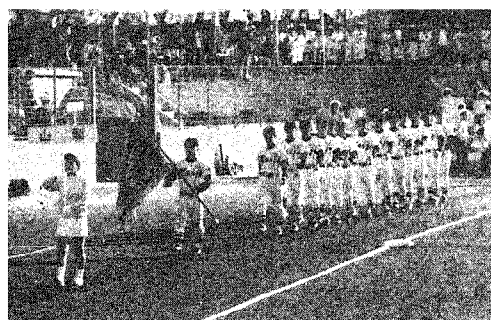
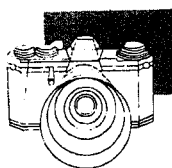
開会式の入場行進前に取った記念写真です。やや緊張ぎみなかいじナイン。

この後、ぶどう色のセーターそして、白のパンツと帽子に身を包んだナイン達は、山梨県選手団の一員として堂々と行進を行いました。



軟式野球少年男子の会場となった郡家町では、民泊の方が歓迎の横断幕を掲げてかいじナインを迎えてくれました。また、決勝戦では相手が地元チームにもかかわらず、多くの方がかいじクラブの応援に来てくれました。最後まで心のこもった歓迎に涙するナインもいました。

男子少年野球 軟式 山梨県 選手団 歓迎



色とりどりの花に飾られた町営郡家球場を、プラスバンドの演奏に合わせて堂々と入場行進する都留かいじクラブのナインたち。

代表旗を手に行進する佐藤キャプテンの気迫がスタンドまでとどくようです。



惜しくも地元緑ヶ丘クラブに敗れたものの、一・二年生だけの若いかいじクラブは、みごと準優勝を果たしました。ベンチで悔し涙を流していたナインは、表彰式に臨んでも、まだ目を真赤にしながら緑ヶ丘クラブの勝利に拍手を送っていたのがとても印象的でした。



を追って

外野の要

「五番セクター・森島秀樹君」かいじクラブへの入部の動機は？「国体に出場できるのは最初で最後のチャンスとと思ったから入部しました。」

先のわかとり国体での準優勝についてどう思いますか？「みんながきつい練習に耐えられたことが、好結果に結びついたと思います。」

野球を続けてこられたのはだれの力が大きいですか？「なんとと言っても母親の協力が大きかったです。」

森島君の今の課題は？「とくにバッティングに問題があ



ると思います。内角のボールは打てるが外角のボールはどうしてもうまく打てません。なんとか外角のボールも打てるようにしたいと思います。」最後に来年のかいじ国体に向けて一言。「冬場の練習で筋力アップして、かいじ国体ではかならず優勝します。」

走る外野手

「九番ライト・三井正行君」三井君は中学時代スポーツは何をしていましたか？「サッカーをしていました。」

かいじクラブへの入部は？「人生一度のチャンス、その機会をのがしたくないと思い入部しました。」

わかとり国体の感想は？「開会式の人の多さと、会場の広さになにしろ驚きました。」

高校から本格的に野球を始めて何かハンディキャップはなかったですか？「ありました。なんとかみんなについていこうと努力してきました。結果的にはそれがよかったと思っています。」

三井君の課題は何ですか？「バッティングです。くらいついででも打てるようなバッターになりたいと思います。あとは精神力の問題です。」

来年に向けて一言。「とにかくガンバッテ優勝します。」